

2018年9月11日

日本生命保険相互会社

ニッセイ インターネットアンケート

～「セカンドライフ」に関する意識調査～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「セカンドライフ」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《調査概要》

- 調査期間：2018年8月1日(水)～8月12日(日)
- 調査方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：7,473名(男性:3,905名、女性:3,568名)

<年代別回答者数>

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	277	607	968	1,111	644	298	3,905
女性	292	606	826	946	589	309	3,568
合計	569	1,213	1,794	2,057	1,233	607	7,473
占率	7.6%	16.2%	24.0%	27.5%	16.5%	8.1%	100.0%

《調査結果のポイント》

定年

ポイント①

質問 1～3

- 定年は「60歳」と回答した方が63.9%。
- 従業員数の少ない職場ほど、定年は「65歳」「70歳」と回答した方の割合が多く、シニア活用が進んでいる。
- 働きたい年齢は「60～64歳」と回答した方が36.1%と最も多い一方で、それを上回る45.8%の方が65歳以上も働きたいと回答。

お金

ポイント②

質問 4～6

- ゆとりあるセカンドライフに必要な1カ月あたりの生活費は、単身の場合は平均で約22.9万円、夫婦の場合は平均で約27.6万円。
- 50代、60代と年代が上がるにつれて、必要とする生活費は増加。
- 貯めておきたい金額は、平均約2,880万円。
- 40・50代の8割以上、60・70代の6割以上は、現時点で目標金額を達成できていない。
- 資金を貯める手段は、約4割の方が「預貯金」と回答。

過ごし方

ポイント③

質問 7～9

- セカンドライフでやりたいことは、「旅行」「趣味」「家族と過ごす」が上位。
- 女性は「グルメ」や「友人と過ごす」という回答が多い一方で、男性は「スポーツ」「今の仕事を継続」という回答が多くなった。
- 不安に感じることは、若年層は生活費や年金等の金銭面、定年前後の年代は自分や家族の健康面に関する回答が多かった。

質問1 【企業・団体にお勤めの方への質問】

あなたの職場では定年は何歳ですか？（回答者数：3,741名）

- 定年は「60歳」と回答した方が63.9%と最も多かった。
 ○従業員数の少ない職場ほど、定年は「65歳」「70歳」と回答した方の割合が多く、シニア活用が進んでいる。

■定年の年齢<従業員規模別>

	(%)			
	60歳未満	60歳	65歳	70歳
50人未満	5.4	51.6	37.5	5.5
50~300人未満	5.6	63.9	29.1	1.4
300~5,000人未満	5.4	69.7	24.0	0.9
5,000人以上	5.7	69.5	23.7	1.1
全体	5.7	63.9	28.3	2.1

質問2 何歳まで働き続けたいと思いますか？（回答者数：6,133名）

- 「60~64歳」まで働き続けたいと回答した方が、36.1%と最も多い一方で、それを上回る45.8%の方が65歳以上も働き続けたいと回答。
 ○年代別で見ると、20・30代は「60歳未満」を希望する割合が高く、60代以上の約7割の方が65歳以上も働き続けたいと回答。

■何歳まで働きたいか

	(%)						
	全年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
60歳未満	18.1	30.1	25.0	21.2	14.5	7.6	8.2
60~64歳	36.1	39.7	40.5	36.2	41.2	24.5	15.6
65~69歳	28.2	22.9	22.6	27.8	29.6	40.0	16.3
70~74歳	8.6	2.9	6.3	7.5	7.7	14.9	19.9
75歳以上	9.0	4.3	5.5	7.2	7.1	13.0	40.1

45.8%

質問3 ご自身は定年退職後等のセカンドライフを何年くらい過ごしたいと思いますか？

(回答者数：5,822名)

- 50代以下の層を中心に、「10~20年未満」と回答した方が最も多かった。
 ○60代は「20~30年未満」が38.1%、70代以上は「30年以上」が53.1%と最も多く、年代が上がるにつれ、年数も長くなる傾向が見られた。

■セカンドライフを何年過ごすと思うか

	(%)						
	全年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
10年未満	13.8	14.2	11.5	14.6	14.2	12.0	18.6
10~20年未満	38.0	48.8	47.8	39.2	41.3	23.3	13.8
20~30年未満	29.7	28.1	26.7	30.1	29.7	38.1	14.5
30年以上	18.5	8.9	14.0	16.0	14.9	26.6	53.1

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>



中小企業は大企業と比べて定年制度の導入率が比較的低く、70歳以上でも何らかの形で働き続けられる割合も2割を超えています。景気の変動により採用難に苦しむことも多い中小企業では、多様な人材の活用に目を向けているということでしょう。

また、年齢が高い方が、働きたい年齢が高く、セカンドライフを過ごしたい年数も長い傾向がありますが、実際に年齢を重ねてみると、若い時に想像していたよりも体力もあり活動的に過ごせるということなのかもしれません。

質問4 ゆとりあるセカンドライフに必要な生活費（1カ月あたり）は、いくらくらいだと思いますか？

○単身の場合は平均で約 22.9 万円、夫婦の場合は平均で約 27.6 万円。
 ○50 代、60 代と年代が上がるにつれて、必要とする生活費は増加。
 ○夫婦の場合、60 代の回答が平均約 30.1 万円と最も高くなった。

■単身の場合（回答者数：1,298 名）

	全年代 (%)						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
35万円以上	6.2	6.8	3.2	5.1	7.4	5.5	11.7
30~35万円未満	8.9	6.8	10.8	7.2	8.6	10.4	13.0
25~30万円未満	16.1	16.9	15.2	14.3	16.7	18.6	16.9
20~25万円未満	29.1	28.8	27.8	31.5	29.5	29.5	16.9
15~20万円未満	29.7	25.4	29.7	31.7	29.5	27.3	28.6
15万円未満	10.1	15.3	13.3	10.2	8.1	8.7	13.0
平均金額（万円）	22.9	22.9	21.9	22.3	23.6	23.0	23.8

■夫婦の場合（回答者数：4,434 名）

	全年代 (%)						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
40万円以上	6.9	6.4	5.2	5.8	6.1	11.8	6.8
35~40万円未満	7.3	7.3	6.4	4.8	7.9	10.9	7.1
30~35万円未満	18.0	16.2	15.4	15.6	20.3	21.2	18.8
25~30万円未満	25.2	22.6	23.3	24.3	27.5	25.9	25.2
20~25万円未満	26.5	30.6	30.1	30.6	24.1	19.2	25.9
20万円未満	16.0	16.8	19.6	18.9	14.1	10.9	16.2
平均金額（万円）	27.6	26.9	26.5	26.4	27.9	30.1	27.5

質問5 セカンドライフをスタートする時まで、貯めておきたい金額はいくらくらいですか？現時点でどれくらい達成できていますか？

○貯めておきたい金額は、平均約 2,880 万円。
 ○50 代以上では、3,000 万円以上と回答した方が多かった。
 ○40・50 代の 8 割以上、60・70 代の 6 割以上は、現時点で目標金額を達成できていない。
 ○20 代以下でも、9 割以上の方は準備の必要性を感じている。

■貯めておきたい金額（回答者数：6,625 名）

	全年代 (%)						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
5,000万円以上	6.0	3.8	3.4	4.7	6.7	7.8	7.2
3,000~5,000万円未満	32.7	23.2	27.5	30.4	34.6	36.7	34.3
1,000~3,000万円未満	35.8	34.1	38.7	38.4	34.6	35.1	31.0
500~1,000万円未満	14.9	28.6	17.2	16.5	13.8	11.6	13.0
500万円未満	10.5	10.3	13.1	10.0	10.2	8.8	14.4
平均金額（万円）	2,880						

■どれくらい達成できているか（回答者数：6,552 名）

	全年代 (%)						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
80~100%	12.9	0.8	2.8	5.5	13.6	31.0	34.7
50~80%未満	17.8	1.2	4.0	15.0	23.9	28.8	29.1
30~50%未満	15.4	3.4	12.0	19.1	18.4	15.2	11.7
10~30%未満	22.9	28.8	34.0	25.9	20.8	13.1	9.7
10%未満	26.8	59.0	41.7	30.2	19.8	9.3	11.9
まだ準備する必要を感じない	4.1	6.8	5.4	4.2	3.5	2.6	2.9

質問6 セカンドライフの資金を貯めるためにどのようなことをしていますか？ ※複数回答可

(回答者数：5,146名)

○全体の40.7%が「預貯金」と回答。

○30代以下は「保険（貯蓄型）・年金」と回答した割合が全年代の平均より多く、60代以上では「資産運用」と回答した割合が他の年代よりも多かった。

■資金を貯めるための手段

(%)

	全年代						
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
預貯金	40.7	42.1	40.8	40.5	39.4	42.1	43.0
保険（貯蓄型）・年金	28.2	33.5	31.2	27.9	27.7	25.8	25.0
資産運用	12.2	5.8	10.4	11.9	12.8	15.5	14.4
NISA（少額投資非課税制度）	7.7	3.9	6.3	7.5	8.7	9.1	7.2
特に何もしていない	7.3	11.2	6.8	7.2	6.8	6.5	9.1
iDeCo（個人型確定拠出年金）	3.3	2.9	3.8	4.4	4.1	0.5	0.6
その他	0.6	0.7	0.7	0.6	0.4	0.5	0.6

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>

少子高齢化が進み、社会保障制度の持続可能性に対して不安が広がる中で、若者でも大半が老後の資金準備の必要性を感じています。年齢とともに必要と考える資金は増えていますが、多くが目標を達成できていません。また、どの年代でも、資金を貯める方法は「預貯金」が最多です。

若い世代をはじめ、セカンドライフの資金準備には強いニーズはありながらも、十分な対策は取れていません。政府や金融機関には、消費者への更なる情報発信が求められるようです。資金準備には、保険商品の活用をはじめ様々な方法があります。NISA や iDeCo 等の政府の非課税投資制度の活用もあるでしょう。消費者自身も積極的に情報収集をし、早いうちから対策をすることが、ゆとりあるセカンドライフにつながるのではないのでしょうか。

質問7 セカンドライフでやりたいことは何ですか? ※複数回答可 (回答者数: 6,852名)

○男女ともに「国内旅行」「趣味」「家族と過ごす」「海外旅行」が上位。
 ○女性は「グルメ」や「友人と過ごす」という回答が多い一方で、男性は「スポーツ」「今の仕事を継続」という回答が多かった。

(%)

やりたいこと	全体		
	男性	女性	
国内旅行	16.9	16.2	17.6
趣味	16.0	16.2	15.7
家族と過ごす	15.7	15.8	15.7
海外旅行	9.9	9.0	11.0
グルメ	6.4	5.3	7.7
友人と過ごす	5.9	3.9	8.3
スポーツ	4.8	5.9	3.6
今の仕事を継続	4.4	5.3	3.4
地域貢献・ボランティア活動	3.7	3.8	3.6
新しい仕事にチャレンジ	3.4	4.2	2.6
特になし	3.2	3.5	2.9
資産運用・投資	2.9	3.7	2.0
田舎暮らし	2.5	3.2	1.9
勉強・資格取得	2.0	2.0	2.1
海外へ移住	1.4	1.3	1.5
その他	0.8	0.9	0.7

質問8 セカンドライフで不安に感じていることは何ですか? ※複数回答可 (回答者数: 6,748名)

○60・70代は、自分や家族の「健康・病気」、「配偶者の介護」等の健康面への不安が5割以上を占めた。
 ○20～40代は「年金制度」、40・50代では、「生活費や医療費」等の金銭面に不安を感じる方が多かった。
 ○「不安は感じていない」と回答した方のうち、相対的に20代以下と70代以上が多かった。

(%)

不安に感じていること	全年代						
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
自分の健康・病気	25.7	20.7	23.0	23.9	25.8	30.8	38.5
生活費や医療費	16.5	15.6	16.5	18.0	17.7	13.6	10.6
家族の健康・病気	15.6	12.7	15.3	14.4	15.4	18.4	20.0
年金制度	11.9	15.0	13.3	12.6	11.6	10.0	6.2
親の介護	8.6	9.3	9.7	9.3	10.0	5.6	0.7
家族との死別	4.2	5.3	5.3	4.6	3.8	3.2	2.2
社会情勢・経済情勢	4.0	5.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8
配偶者の介護	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	4.5	4.8
不安は感じていない	2.8	4.3	2.1	2.4	2.2	3.6	6.7
家族との関わり	2.6	3.1	2.6	2.6	2.5	2.4	2.0
子・孫の面倒	2.1	2.2	2.1	2.3	1.7	2.5	2.6
友人との関わり	1.4	2.4	1.6	1.7	1.0	1.1	0.8
その他	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.4	1.2

質問9 セカンドライフを過ごすにあたり転居したいと思いませんか？

【「はい」と回答した方への質問】転居したい都道府県はどこですか？

その都道府県を選んだ一番の理由は何ですか？

○7割以上の方が、セカンドライフを過ごすにあたり転居を望まないと回答。
○セカンドライフを過ごしたい都道府県は、1位が「東京都」2位が「沖縄県」で、昨年の順位が逆転した。

■転居したいと思うか（回答者数：5,146名）

	全体 (%)	
	男性	女性
はい	25.8	27.4
いいえ	74.2	72.6

■【「はい」と回答した方への質問】

転居したい都道府県（回答者数：1,279名）

順位	都道府県 (昨年順位)
1位	東京都 (2位)
2位	沖縄県 (1位)
3位	北海道 (3位)
4位	神奈川県 (4位)
5位	大阪府 (5位)
6位	福岡県 (8位)
7位	兵庫県 (6位)
8位	長野県 (10位)
9位	愛知県 (7位)
10位	千葉県 (-)

■その都道府県を選んだ理由（回答者数：1,272名）

【1位：東京都】

順位	理由	占率 (%)
1位	交通網の発達	46.7
2位	娯楽が多い	17.6
3位	医療・介護施設が多い	15.2

【2位：沖縄県】

順位	理由	占率 (%)
1位	自然が豊か	43.4
2位	気候が良い	34.6
3位	物価が安い	10.3

【3位：北海道】

順位	理由	占率 (%)
1位	自然が豊か	50.0
2位	気候が良い	16.4
3位	食べ物が豊富	13.3

【4位：神奈川県】

順位	理由	占率 (%)
1位	交通網の発達	29.4
2位	自然が豊か	17.6
3位	気候が良い	9.4

【5位：大阪府】

順位	理由	占率 (%)
1位	交通網の発達	45.5
2位	医療・介護施設が多い	9.1
3位	娯楽が多い	9.1

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>

セカンドライフでやりたいことについて、男女を比較すると、女性の方が「友人と過ごす」や「グルメ」、旅行等がやや多く、外へ出ることに積極的な傾向があるようです。

一方、セカンドライフの不安は、健康問題の少ない現役世代ではお金の問題で、健康問題を抱える方も増える高齢者では、やはり健康や介護の問題で強く感じるようです。また、若者や70代以上でセカンドライフの不安を感じていない割合が比較的高いですが、若者はまだセカンドライフを想像しにくいこと、70代以上はある程度の対策ができている、あるいは歳を重ねても案外元気であることが背景にあるのかもしれない。

セカンドライフを過ごしたい場所は東京と沖縄が人気ですが、利便性の高い都会か、自然が豊かな田舎かで二極化しているようです。

以上